

編集発行
 日本共産党鶴岡市議団
 鶴岡市美原町16-5
 電話22-3313

高橋 ちづ子
 智友
 いわぶち
 国會議員連絡所
 鶴岡市美原町16-5
 ☎ 22-3313
 FAX 24-4096

無料生活相談所
 関 徹
 長者町11-26
 24-2414
 加藤 一
 宝徳 仲田56
 64-3941
 菅井 巖
 中 楯 9 6
 33-0534
 坂本 昌栄
 稲生2-33-47
 24-5993
 山田 守
 宝田1-9-1-31
 23-6548
 長谷川 剛
 日枝坂本43-10
 24-1677

障害者・高齢者福祉計画「ニーズ多様化に対応」

市議会厚生常任委で当局が説明

鶴岡市議会厚生常任委員会協議会が19日に開かれ、障害者福祉計画と高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画について市当局から説明がありました。

障害者福祉―権利擁護推進、就労支援の充実

鶴岡市障害者福祉計画は、障害者基本法第1条の目的で「障害者の権利に関する条約」に基づき「障がいの有無にかかわらず人格と個性を尊重する共生社会の実現を目指す」と「が掲げられ、社会的障壁の除去をはじめとする基本原則が定められました。

平成28年4月の「障害者差別解消法」の施行、同年6月の「障害者総合支援法」の改正に伴い、新たなサービスの創設、障がい児支援のニーズの多様化に対応するため支援充実を図り、平成30年4月から施行。「地域共生社会」の実現を図るため基本理念は「地域に暮らす 地域と暮らす」を掲げています。

第5期障害者福祉計画は、主に福祉施設の入所者の地域生活への移行、平成32年末までに「保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置」「地域生活支援拠点の整備」福祉施設から一般就労への移行等の施策の方向性が示されています。

第1期障害児福祉計画は、主に平成32年度末までに「児童発達支援センターの設置」「重症心身障害児支援事業所の確保」等が示されています。

重要事項として障がい者や障がいの理解促進（障がい者やその御家族が一番に望んでいる）、権利擁護の推進、療育支援体制と発達障がい者等への支援、就労支援の充実が掲げられています。



鶴岡市社会福祉協議会(主管)と鶴岡市、鶴岡市遺族連合会の主催による鶴岡市戦没者追悼式が24日、荘内神社参集殿で行われ、多数の遺族が参列し平和を誓い合いました。加藤一、菅井巖、山田守、坂本昌栄、長谷川剛議員も出席しました。

高齢者福祉―介護予防推進、地域包括支援センターの強化

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画は基本理念として「誰もがいつまでも

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画は基本理念として「誰もがいつまでも

鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画は基本理念として「誰もがいつまでも

生き活きと暮らし続けられる地域社会の実現」を掲げ、「いきいきと活動的に暮らせるために」主な基本施策として介護予防の推進、地域生活を支える体制の充実(生活支援コーディネーターの配置・協議体の設置)等。

「住み慣れた地域で安心して暮らせるために」地域包括支援センターの強化(包括支援センターの担当地区を再編し保健師・社福

「介護保険をよりよく適切に使うために」介護保険サービスの円滑な提供、介護保険事業の適正な運営等それぞれ取り組みや支援策が記されています。

加藤一市議と坂本昌栄市議が出席しました。

一方、市単独の取り組みだけでは対応が困難な事例がいくつもあるといのが現状であり、市と所有者、住民自治組織や専門家団体と連携して、空き家の適正な管理と活用促進について実施していくために「空き家対策計画」を策定することが提案されました。

今後、5月にパブリックコメント(意見公募手続)を実施、6月に計画策定・公表とする予定です。

長谷川剛市議が出席しました。

空き家増加、対策計画「策定へ」5月にパブリックコメント実施

鶴岡市議会産業建設常任委員会協議会が17日開かれ、「鶴岡市空き家等対策計画(案)」について当局から説明がありました。

鶴岡市は、5年に一度空き家実態調査を行っており、平成27年度の鶴岡市内全域における空き家棟数は、2806棟で前回(平成22年度)より533棟増加、空き家率は5.1%となっています。

また、空き家棟数の全体の約70%は鶴岡地域に集中しています。空き家実態調査では、優良から危険までは、A～Dランクまでの老朽危険度判定を行って

所有者や周辺住民から相談が寄せられた場合、内容に応じて担当課が対応します。

しかし、空き家に関する相談件数も増加する

また、空き家棟数の全体の約70%は鶴岡地域に集中しています。

空き家実態調査では、優良から危険までは、A～Dランクまでの老朽危険度判定を行って

所有者や周辺住民から相談が寄せられた場合、内容に応じて担当課が対応します。

しかし、空き家に関する相談件数も増加する



21日、日本共産党市議団と関とおる県議は、安倍政権の総辞職を求めて街頭宣伝しました。

鶴岡市は、5年に一度空き家実態調査を行っており、平成27年度の鶴岡市内全域における空き家棟数は、2806棟で前回(平成22年度)より533棟増加、空き家率は5.1%となっています。

また、空き家棟数の全体の約70%は鶴岡地域に集中しています。

空き家実態調査では、優良から危険までは、A～Dランクまでの老朽危険度判定を行って

所有者や周辺住民から相談が寄せられた場合、内容に応じて担当課が対応します。

しかし、空き家に関する相談件数も増加する

生活保護・市営住宅について要請

生健会が
要請行動 市は「要望にできる限り回答したい」



生健会の代表が市に要請を行う

鶴岡生活と健康を守る会（生健会、遠藤喜一郎会長）は19日、鶴岡市に対し要請行動を行いました。市側から斎藤福祉課長、村上建

築課長、担当職員等が対応しました。遠藤会長が市へ要請書を手渡し、生活保護制度について、「手引き」などに憲法25条を明記し「利用」できる制度にする事や、「負担が重い」と

保護利用者の通院費は扶助されているか「手引き」については、見直す考えは「の問いに、市側から通院費について手続き、申請があれば支給していることや、手引きについては、現在のものとなって数年たっていることから検討をしたい旨の答弁がありました。

がついた事にふれ、「団地管理者を通じてのアシキートを取って、要望を聞き取るべきでは」との問いに、市側は予算の関係もあるが、要望が寄せられればできる限り対応したい旨の答弁がありました。

等、生活上で必要なものについての支給を行うこと。
市営住宅について
④市営住宅の退去（住替え）の際に発生する「原状回復」に係る費用が高額になり、困難を抱える方に支援を行うこと。

【要請項目】

生活保護制度について
①制度への「ステイグマ」や「バッシング」など誤解が生じないよう、制度の周知・広報を行うこと。
②申請の窓口対応は、申請者の権利を尊重し、すみやかに受理すること。

⑤市営住宅の入居者承継において、国のガイドライン見直しによって同居親族であっても退去を求められる事案があり、新たな住宅確保要配慮者を生み出す要因となることから、その適用にあたっては画一的な取り扱いとせず、入居世帯の実態を把握し、低所得世帯については入居承継させること。

市議会と対話実現 会員は大幅に増加

「読書のまち鶴岡」をすすめる会総会



黒羽根代表が挨拶

本に親しめる環境づくりや本でつなぐ市民交流の場を設定し、秋の読書週間には「山根基世講演会」の開催や、2012年に

美さんが「子どもの読書く桃太郎からポップ・ディランまで」と題して記念講演。高橋祐輔氏のピアノ演奏と共に絵本の「読み語り」を表現豊かに演じられ感動を呼びました。

総会には関係県議と加藤鉦一市議も出席しました。
③ケースワーカー訪問の際には、制度に基づいた具体的な支援、情報提供を行うこと。老朽化の著しい住宅の「畳」や「ふすま」「かべ」などの修繕や、病

⑥市営住宅に入居する高齢者世帯で、体力の衰えによる生活上の支障が見られることから、トイレや浴室などへの「手すり」の設置など、入居者の要望を聞き取り、整備を行うこと。

「読書のまち鶴岡」をすすめる会の第2回総会が22日、にこ・ふる大会議室で開かれました。

平成27年12月議会で

「読書のまち宣言を求めるとの請願」の委員会審査の時は、請願者の発言が新政クラブなどの反対で出来なかったの

会ではこの1年間、

黒羽根洋司代表が挨拶で、初めて鶴岡市議会市民文教常任委員との対話の機会が実現したことが述べられました。

公布された「古典の日に関する法律」による「古典の日」行事を11月4日、市立図書館講読室で開催したことが報告されました。

会員の個人301人、賛助会員52団体・企業へと大きく増加し、新年度の活動計画と予算案が可決されました。

会の設立時に理事に選出されていた皆川治氏は、公人（市長）になったために役員から外れたことが報告されました。

総会終了後、本間俊

土木課入札結果（ ）内は予定価格

4月19日入札分

- ・藤島東線表層改良工事（藤島地内）（入札6業者）
（株）東北ペープ 4,250,000円（4,336,000円）工期～7/31（落札率98.02%）
- ・中学校板井川線表層改良工事（東荒屋地内）（入札12業者うち第3回入札時2業者辞退）
（株）田川 1,880,000円（1,987,000円）工期～6/29（落札率94.61%）
- ・神明前茶屋川原線表層改良工事（下山添地内）（入札7業者）
（株）王祇建設 5,300,000円（5,495,000円）工期～7/31（落札率96.45%）
- ・仙道向山線道路改良工事（羽黒町荒川地内）（入札3業者）
（有）すずき 1,400,000円（1,469,000円）工期～6/29（落札率95.30%）
- ・日鍮線道路改良工事（熊出日鍮地内）（入札4業者）
（株）新栄 2,920,000円（3,301,000円）工期～7/20（落札率88.46%）
- ・播磨中京田線道路改良工事（中京田地内）（入札7業者）
丸栄工務（有） 2,650,000円（2,682,000円）工期～7/9（落札率98.81%）
- ・道形町7号線道路改良工事（道形町地内）（入札7業者）
（株）岡部建設 3,060,000円（3,290,000円）工期～7/30（落札率93.01%）
- ・工業団地錦町大泉橋線道路改良工事（上畑町地内）（入札12業者うち第1回入札時1業者辞退第3回入札時1業者辞退）
（有）大泉建設 4,600,000円（4,744,000円）工期～8/3（落札率96.96%）

羽黒庁舎産業建設課入札結果（ ）内は予定価格

4月19日入札分

- ・平成29年災33-1東山農地災害復旧工事（繰越明許）（羽黒町上野新田字東山地内）（入札6業者うち2業者辞退）
（株）太田建設 4,950,000円（5,150,000円）工期～8/31（落札率96.12%）

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

4月17日入札分

- ・市公共下水道事業 発注者支援業務（その2）（小波渡・堅苔沢地内ほか）（入札9業者うち6業者辞退）
（株）ジステム 15,800,000円（17,901,000円）期間～31/3/29（落札率88.26%）